



いばらきの味覚

ローズポーク

「ローズポーク」は、全国有数の養豚県である茨城が生んだ銘柄豚肉です。
名前の由来は、県花、バラにちなんで「輝かしい未来が開かれること」から昭和56年に命名されました。
「育てる豚・育てる人・育てる飼料」を指定した、茨城が誇る安全・安心でおいしい豚肉です。

主な内容

- ▼ 関東地方整備局と意見交換
- ▼ 12支部が県内各地で道路美化活動
- ▼ 建災防の下半期各種講習会日程

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

大型補正の早期編成求める

関東地方整備局と意見交換会

本会は8月24日、国土交通省関東地方整備局や茨城県土木部と諸課題について話し合う意見交換会を県市町村会館で開催しました。国に対し大型補正予算の早期編成や地元業者の受注機会の確保、適正利潤の確保を要望したほか、夏場の熱中症対策としての工期延長等について適切な対応を求めました。意見交換前には、石津健光本会会長が石原康弘関東地方整備局局长に要望書を手渡しました。



石原関東地方整備局長 伊藤県土木部長 石津会長

冒頭、関東地方整備局の石原局長は、「昨年10月に『地域インフラサポートプラン関東2017』を公表し、建設業をサポートする取り組みを進めている」とした上で、「ご提案いただいたテーマをはじめ、さまざまな課題があると思うが、率直なご意見をいただき、本日の意見交換会を有意義なものにしてまいりたい」とあいさつしました。

伊藤敦史県土木部長は「建設業は地域の経済や雇用を支える重要な産業として、県民の安全で快適な暮らしになくてはならない存在」とし、「今後とも地域の発展に貢献する県内建設業者の健全な育成を図っていききたい」と述べました。

本会からは石津会長が「建設業界には解決すべき大きな課題が山積しており、協会としても時代の変化に的確に対応していく。われわれが地域の守り手としての役割を引き続き果たしていくためには、安定的かつ持続的な受注量の確保が必要。本日の意見交換会がお互いにとって実のあるものとなるようご祈念申し上げます」と話しました。

その後、国側が本年度の入札契約、総合評価の実施方針や建設産業行政の最近の動きなどを説明し、前年度意見要望への対応状況を報告。

意見交換では、本会が用意

した◆公共事業予算の安定的な確保◆地元業者の受注機会の確保◆適正利潤の確保◆夏場における熱中症対策としての工期延長等◆外国人労働者の受け入れ—のテーマに対し、国側が回答する形式で討議しました。



意見交換前には石津会長が石原局長に要望書を提出



受注機会・適正利潤の確保を

熱中症対策で工期延期も 本会が要望

意見交換の内容

公共事業予算の安定的な確保

【茨建協】

自然災害リスク低減、国土強靱化を推進するための公共事業を柱とした平成30年度補正予算を早急に編成していただきたい。平成31年度当初予算において公共事業費の大幅な増額確保と本県配分増をお願いしたい。

【関東地方整備局】

ストック効果を重視した公共投資により経済成長を図り、必要な公共事業予算を安定的・持続的に確保するよう努めていく。補正予算は、政府として編成の方針が決まったとは承知していない。当面は今年度予算の円滑かつ着実な執行に最大限取り組んでいく。

地元業者の受注機会の確保

【茨建協】

国の工事成績を持たない地元企業の新規参入を促進するため「自治体実績評価型」や「技術提案チャレンジ型」が試行されているが、落札結果を見ると実績が上がっていない。参入が進まない原因を分析し、改善をお願いしたい。

【関東地方整備局】

各建設業協会にご協力をいただきながらアンケート調査等によりその要因を分析するとともに、公告時に試行工事であることをより分かりやすく明示するなど、新規参入企業が参画しやすい方法を検討する。

適正利潤の確保

【茨建協】

設計条件に違いがある場合、特に小規模工事について（単位当たりの基礎数量等）積極的な歩掛等の見直しをお願いしたい。

【関東地方整備局】

維持修繕工事においては、小規模施工の工種は実際にかかる費用と積算額に乖離が見られることから、最低保証額として作業時間が4時間未満の場合は機械・労務は半日分、4時間以上の場合は機械・労務は1日分を計上することとしている。ご意見は本省に伝えるとともに、関東地方整備局としても見直し・改善につなげられるよう現場の実態把握に努める。

【茨建協】

週休2日制の導入に当たり、日給制労働者の適正な所得確保、下請会社を含めた使用機械損料等の適正な確保をお願いしたい。また、ICT施工に関し、設計データ作成の際に変更が生じた場合の費用が計上されないなど、不明確な部分があることから、現場条件に応じた変更費用の計上をお願いしたい。

【関東地方整備局】

現場の閉所状況に応じて各経費の補正を行うとともに、最新の施工実態等を踏まえ間接工事費、労務費、機械経費（賃料）の各経費の補正係数を見直したところであり、価格に適正に反映していく。

夏場における熱中症対策としての工期延長等

【茨建協】

気温が一定以上となった場合の作業中止、それに伴う工期の延伸など、夏季における現場の熱中症対策としての工期見直し（工事期間の延長）をためらわずに実施していただきたい。

【関東地方整備局】

本省から「工事現場等の安全対策について」が通知され、高温多湿な作業環境下での作業や熱中症対策において、必要な措置を講じ適切に対処すること、工期の見直しも含めて施工期間等の適正化に努めることとされたことから、各現場で適切に対処されるよう周知徹底を図っていく。

外国人労働者の受け入れ

【茨建協】

今後の具体的な動き（内容）について、逐次、情報提供していただきたい。

【関東地方整備局】

本年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」（骨太の方針）において、新たな在留資格の創設によって、外国人材の受け入れを拡大していく方針が示された。

業界内に誤解や混乱を与えないよう留意しながら、可能な範囲で適時・適切な情報提供に努めていく。

12支部が各地で美化活動

8月「道路ふれあい月間」

本会の12支部は「道路ふれあい月間」(8月)と8月10日の「道の日」にちなんで、茨城県土木(工事)事務所や市町村などとともに、県内各地で道路美化清掃活動を行いました。ことしも猛暑の中、2000人以上が参加。「茨城県建設業協会」の名前が入ったベストを着用し、「生活を守り、まちをささえる建設業」と書かれた旗を掲げながら、ごみ拾いやカーブミラー清掃、違法看板の撤去などを行いました。

水戸支部



県水戸土木事務所や市町の職員を含め約200人が参加し、水戸市、旧内原町、笠間市、小美玉市、茨城町、城里町、大洗町の7地区で活動しました。

大子支部



県大子工務所、大子町と合同で、国道や県道など14路線総延長164kmの美化活動を行い、304kgのごみを回収しました。

太田支部



県常陸太田工事事務所や常陸太田市とともに、国道293号および国道349号で、242枚のカーブミラー清掃やごみ拾いを実施しました。

高萩支部



県高萩工事事務所などと合同で総勢180人が参加。日立、高萩、北茨城の3地区で道路の空き缶やごみを拾い集め、地域の美化に貢献しました。

常陸大宮支部



県常陸大宮土木事務所とともに、道路の美化に貢献。約110人が常陸大宮市、ひたちなか市、東海村、那珂市の4地区に分かれ、ごみを拾い集めました。

鉾田支部



県鉾田工事事務所や鉾田市、行方市などと協力し、国道355号をはじめとする管内6路線で約120人が清掃活動に取り組みました。

地域社会への貢献に汗流す

県土木(工事)事務所、市町村と共同作業

この活動は道路の管理者である県土木(工事)事務所や市町村、道路の建設・維持・補修の実務を行う建設業界で、ごみ拾いや違法看板類の撤去などを行う姿勢を広く県民の皆さまへ示すことにより、道路管理の大切さとその苦勞を訴え、道路美化に寄与するために行っているものです。平成8年度から毎年、8月10日の「道の日」を中心に実施しており、今回で23回目となりました。

潮来支部



県潮来土木事務所、潮来市、潮来市建設業組合などと連携。総勢180人が4グループに分かれ、道の駅いたこ周辺で美化活動を行いました。

筑西支部



県筑西土木事務所や筑西市、結城市、桜川市と協力。600人以上が参加し、合計で可燃ごみ383袋、不燃ごみ276袋などが集まりました。

竜ヶ崎支部



県竜ヶ崎工事事務所や龍ヶ崎市と県道佐貫停車場線の延長4km、土浦竜ヶ崎線の延長2.5kmに捨てられた空き缶やペットボトルなどを拾い集めました。

常総支部



県常総工事事務所との共同により、下妻市、常総市、八千代町でごみ拾いを実施。可燃ごみ110kgを下妻市のごみ処理場に搬入しました。

土浦支部



県土浦土木事務所や周辺自治体の協力を受け、400人以上が道路清掃活動を展開。延長695.9kmで空き缶などのごみを回収しました。

境支部



県境工事事務所と連携し、古河市、坂東市、五霞町、境町の主要13路線約108.9kmで清掃活動を展開。交差点を中心に空き缶などのごみを回収しました。

車両事故想定し迅速対応

総合防災訓練
に参加



8月11日に鹿嶋市のカシマサッカースタジアムなどを会場とした2018年度総合防災訓練が開催され、本会から石津健光会長をはじめとする正副会長および潮来支部（松崎里志支部長）が参加し、防災意識の高揚を図りました。

防災訓練は、災害時における防災活動の円滑



化と相互協力体制を強化するため、茨城県と県内自治体の共催で毎年行われています。

潮来支部は、国道51号で車両の多重衝突事故が発生し、通行の妨げとなっている状況を想定。ユニック車を使用して障害物となっている車両の除去作業を行いました。

“探建ツアー”で夏休みの思い出づくり

担い手ネットワーク協議会が親子見学会

本会などで構成する県建設産業担い手確保・育成ネットワーク協議会は8月24日、夏休み建設業親子見学会「茨城港常陸那珂港区探建ツアー」を開催。小学生5・6年生と保護者20組40人が参加し、常陸那珂火力発電所の工事現場やコマツの茨城工場を見学しました。

この取り組みは、建設産業の魅力を正しく知ってもらうことを目的とするもので、今回が初開催となります。

子どもたちは大迫力の工事現場を見学したほか、消波ブロックを作ったり、大型建設機械に試乗したりしました。「工場や乗り物を間近で見れてうれしかった」「乗り物の動かし方を教えてくれた人が格好良かった」と目を輝かせながら感想を話すなど、子どもたちにとってかけがえのない夏休みの思い出となりました。



建設業労働災害防止協会茨城県支部 平成30年度開催予定表（下半期）

月	日	曜日	講習名	会場	備考		
10	1	月	足場の特別教育（6時間）	建荷協研修センター 2階			
	1	2	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	建荷協研修センター			
	3	水					
	2	3	高所作業車の運転	建荷協研修センター 2階	(学科)		
	4	5				建荷協研修センター	(実技) 4、5日のいずれか
	9	10	玉掛け	潮来市商工会館	○ (学科)		
	11	13				潮来市商工会館	○ (実技) 11、13日のいずれか
	12	金	丸のこ等取扱作業従事者	建荷協研修センター			
	15	月	刈払機取扱作業従事者	牛久市商工会館	○		
	16	17	小型移動式クレーンの運転	ひたちなか商工会議所会館	○ (学科)		
	18	19				建荷協研修センター	○ (実技) 18、19日のいずれか
	22	23	低圧電気取扱業務	茨城県建設業協会筑西支部会館	(23日実技)		
	23	24	足場作業主任者	建荷協研修センター			
	25	木	車両系建設機械（整地・運搬・積み込み用及び掘削用）の運転	石下建設会館			
26	金	石塚産業(株)資材置場				(実技)	
11	2	金	刈払機取扱作業従事者	茨城県建設業協会高萩支部会館			
	5	6	高所作業車の運転 (申込み受付先はつくば市商工会)	石下建設会館	○ (学科)		
	7	8				石下建設会館駐車場	○ (実技) 7、8日のいずれか
	13	14	小型移動式クレーンの運転	古河市商工会三和事務所	○ (学科)		
	15	16				古河市商工会三和事務所駐車場	○ (実技) 15、16日のいずれか
	19	20	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)		
	21	22				建荷協研修センター	(実技) 21、22日のいずれか
	26	27	足場作業主任者	茨城県建設業協会高萩支部会館			
28	29	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター				
12	3	4	足場作業主任者	建荷協研修センター			
	4	5	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)		
	6	7				鹿島港湾福祉センター	(実技) 6、7日のいずれか
	10	11	足場作業主任者	鹿島ハイツスポーツプラザ			
	12	13	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	建荷協研修センター			
	14	金					
	17	18	石綿作業主任者	石下建設会館			
	19	20	コンクリート工作物解体作業主任者	建荷協研修センター			
	25	26	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター			
	15	16	職長・安全衛生責任者	鹿島港湾福祉センター			
	17	18	建築鉄骨作業主任者	鹿島港湾福祉センター			
	21	月	職長・安全衛生責任者能力向上	建荷協研修センター			
	22	23	玉掛け	建荷協研修センター	(学科)		
	24	25				建荷協研修センター	(実技) 24、25日のいずれか
28	月	足場の特別教育（6時間）	建荷協研修センター				
29	30	玉掛け	鹿島ハイツスポーツプラザ	(学科)			
31	2/1				鹿島ハイツスポーツプラザ駐車場	(実技) 31、2/1日のいずれか	
2	4	5	足場作業主任者	建荷協研修センター			
	6	水	振動工具取扱作業従事者	牛久市商工会館	○		
	7	8	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター			
	12	13	小型移動式クレーンの運転 (申込み受付先は建災防鹿島分会)	茨城県建設業協会潮来支部会館	(学科)		
	14	15				茨城県建設業協会潮来支部会館駐車場	(実技) 14、15日のいずれか
	18	月	振動工具取扱作業従事者	古河市商工会三和事務所	○		
	19	火	高所作業車の運転	ひたちなか商工会議所会館	○ (学科)		
	20	水				建荷協研修センター 2階	20日午後実技
	21	22				建荷協研修センター	○ (実技) 21、22日のいずれか
	25	月	職長・安全衛生責任者能力向上	鹿島港湾福祉センター			
	3	5	6	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)	
7		8	鹿島港湾福祉センター				(実技) 7、8日のいずれか
11		12	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター			
12		13	高所作業車の運転	建荷協研修センター 2階	(学科)		
14		15				建荷協研修センター	(実技) 14、15日のいずれか
18		19	足場作業主任者	建荷協研修センター			
26		27	足場作業主任者	鹿島勤労文化会館			
28		29	職長・安全衛生責任者	鹿島港湾福祉センター			

注：実技を伴う技能講習の実技講習日は、申込み順に指定します。

*備考欄に「○」がある講習は、特定の団体から要請があり開催する講習会になりますので、一般での受講を希望する方は予め受講残余の枠を確認して下さい。

平成30年度 建設業退職金共済制度加入促進強化月間

平成30年10月1日～平成30年10月31日

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
建退共茨城県支部

TEL 029-225-0095 FAX 029-225-1158
<http://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>

10月・11月は
「建設共済加入促進月間」です

安い掛金! 大きな補償!
建設共済保険
法定外労災補償制度



「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

- 育英奨学事業**
被災者（死亡および身体障害・傷病3種以上）の学費に対して、要保期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。
- 労働安全衛生推進事業**
① 安全衛生用品の頒布
② 女性専用トイレ導入費用に対する助成
③ 安全衛生推進者表彰 等

28年4月スタート!

公益財団法人 **建設業福祉共済団**
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-15 (虎ノ門NSビル)
Tel. 03-3591-8451
<http://www.kyousaidan.or.jp/> 建設共済保険 🔍 検索

取扱機関
(一社) 茨城県建設業協会
〒310-0062 水戸市大町3-1-22
Tel. 029-221-5126 FAX. 029-225-1158

長時間労働削減を

茨城労働局が本会に要請

茨城労働局の田澤修二労働基準部長が8月7日に本会を訪れ、長時間労働削減など「働き方改革」に向けた取り組みに関する周知・啓発への協力を求めました。

会員の動向

〈代表者変更〉

- ▽境支部
宇都木建設(株) 宇都木 昇 → **宇都木 和廣**
- ▽筑西支部
(株)小倉工務店 小倉 弘明 → **岡本 真一**
- ▽土浦支部
(株)カタオカエンジニアリング 片岡 秀昭 → **野口 智洋**

ちよつと言



ご近所に80歳を何年か過ぎたご婦人がいる。その方は、毎朝8時前にはお出かけして行く。病院に2～3箇所掛かっていて、公共のバスが通らない所は3～4km歩くそうだ。本人いわく、「目が悪く、足腰も痛む。整体に掛かり毎日目薬をさすのが大変。息子も嫁も誰も当てに出来ない」と…。内臓系の薬は無さそうである。毎日規則正しく、病院でお友達(?)と話をして歩く。私から見たら全く元気なのです。私も家人に迷惑を掛けない元気な老人を目指したい。(O)